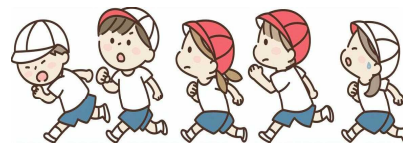


『盈たして 進む』



学校評価結果を受けて

1学期に保護者や地域の方々からいただいたご意見をもとに、2学期に重点的に頑張っていることを紹介します。



一つ目は、『礼儀』です。思いやりを持って、優しい言葉遣いをすることに力を入れています。もともと、仲のよい子ども達ですが、気持ちが入ってしまうと、言葉が乱暴になることもあるからです。また、「いつでも、どこでも、だれにでも気持ちのよいあいさつ」を心がけています。特に、恥ずかしい気持ちを克服し、地域の方へのあいさつができるようにしていきます。

二つ目は、『学力向上』です。教師はもっと分かりやすい授業を組み立てること、子どもは自分から進んで学習すること（家庭学習を含む）を頑張っています。放課後の時間は、子ども達一人一人違います。「やらされている」のではなく、今の自分に必要な学習と考え、家庭と協力しながら自主的な学習ができる子どもを育てていきます。

三つ目は、『強い心と体作り』です。自分に合った目標を持ち、その達成に向かって努力を続けることで、困難を乗り越える強い心と体が養われます。外遊びが好きな子ども達ですが、それだけでは足りません。過ごしやすい時期になったら、走ろう運動にも取り組みます。

理科の授業で…

ある日の授業中、3年生が運動場を走り回っていました。（授業は始まっているのに、何ばしょっとやろか？）と思って見ていると、「理科の授業らしいですよ。」と職員が教えてくれました。みんなで「かげふみ」をしていたようです。



3年生の理科に『地面の様子と太陽』という学習があります。

子ども達は「かげふみ」をしながら、「影は人や物が太陽の光を遮ることで太陽の反対側にでき、影の向きはどれも同じになる」ことに気付いていくのです。

この3年生の理科の授業だけでなく、どの教科でも学習の前に体験をさせたり、これまでの体験を思い出させたりしながら学習につなげ、理解を深めていくことはとても多いです。

逆に、学習したことを実際の体験で深めていくこともあります。「時計」や「お金」などがそうです。昔は、日常生活の中で時間の計算をしたり、買い物をしたりする体験を繰り返すことで、学習したことがやがて自分のものとなっていました。最近、デジタル化や大型商業施設などにより、そういう機会が減っているような気がしています。時間がかかり、面倒なことでもありますが、学習だけでなく生活する知恵（生きる力）を身に付けさせるため、家庭や地域での様々な体験は大切なことだと思っています。よろしくお願いいたします。

